



トシペイ 東北クラブ 2013年

東北クラブ 2013年の結果

Ymd1	Aite	Kekka2	Header1
2013-04-07	仙台FC	1-1 引分け(仙台リーグ)広瀬G 大雨・ 2013-04-14	(全国クラブチーム選手権)松!
2013-04-29	東北工大	2-0 勝ち (全国クラブチーム選手権)松!	
2013-05-05	七郷クラブ	4-1 勝ち (天皇杯)泉東G	
2013-05-19	宮城教員クラブ	2-2 PK6-5(天皇杯)泉G	
2013-05-19	宮城教員クラブ	1-3 負け (社会人)仙台大G	
2013-06-15	マリソル松島	0-4 負け (天皇杯)松島FC	
2013-06-16	クライマックス	6-0 勝ち (仙台リーグ)広瀬G	
2013-06-23	クラブフレンド	1-0 勝ち (仙台リーグ)広瀬G	
2013-07-07	多賀城FC	3-0 勝ち (全国クラブチーム選手権)	
2013-07-14	DUO PARK	1-2 負け (全国クラブチーム選手権)白	
2013-08-04	ACシュバルツ	0-2 負け (仙台リーグ)広瀬G	
2013-08-18	OCT愛子	4-2 勝ち (仙台リーグ)泉G	
2013-09-08	仙台向山FC	6-1 勝ち (仙台リーグ)中田中央G	
2013-09-29	宮エクラフ	1-0 勝ち (仙台リーグ)広瀬G	
2013-10-13	広瀬FC	5-1 勝ち (仙台リーグ)中田公園G	
2013-10-20	FCロッソル	2-1 勝ち (仙台リーグ)中田公園G	
2013-11-17	田尻FC	3-3 引分け(昇格選考)利府県C	
2013-11-24	BOA SORTEさくら	5-1 勝ち (昇格選考)利府県C	
2013-11-30	BOA SORTEさくら	1-0 勝ち (昇格選考)利府県A	
2013-12-01	エスペラント登米FC	5-1 勝ち (昇格選考)利府県A	

2013リーグ第1節試合結果

◆第3節 4/7 △ 1-1 仙台FC

試合会場：宮城広瀬G（クレー）

試合時間：70分

得点：平野（14分、アシスト=なし）、高荷（36分、アシスト=なし）

茂木（43分、アシスト=金田）、高荷（46分、アシスト=茂木）

平野（53分、アシスト=なし）、茂木（66分、アシスト=なし）

先発： FW=平野大地、高荷直樹

MF=茂木淳、松浦弘志、才田悠人、前田竜幸

DF=阿部健康、清水悠、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代：57分=前田→残間諒

警告：なし

サブ：船橋富寿、大高康佑

ベンチ： 鈴木修平監督、嶺岸優、秋保盛樹、小川修一

2013クラブ選手権1回戦試合結果

◆1回戦 4/14 ○ 2-0 OCT愛子

試合会場：松島フットボールセンター（天然芝）

試合時間：60分

得点：高荷（17分、アシスト=なし）、大高（29分、アシスト=桑原）

先発： FW=大高康佑、高荷直樹

MF=茂木淳、松浦弘志、桑原卓哉、才田悠人

DF=加茂洋平、清水悠、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代：30分=茂木→前田竜幸、 30分=大高→平野大地

警告：なし

サブ：残間諒、阿部健康、船橋富寿、船橋伯之

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、岡井篤志

前半から押し気味に試合を進めた。10分、バーに当たる惜しい場面もあった。15分、絶好のチャンスもあった。そして17分、高荷がペナルティエリアの外から相手を外してグラウンダーのミドルシュートをゴール右下隅に決めた。さらに前半終了間際の29分、桑原が右サイドから切り込む。DFの知場がゴール前まで迫る。相手DFが慌ててマークに行き、それでフリーになった大高にラストパスが渡りゴールゲット。何が起きたのかわからずゴールの歓声も上がらなかつたほど。知場の頭脳プレーが光った2点目だった。

後半は、前半での体力消耗が響いて相手が優勢に進めた。二度ほど決定的な場面があったが、幸運にもゴールとはならなかつた。2点を守りきつて1回戦を突破した。

観戦していて、緊張感のあるメリハリの効いた良い試合だった。

ちなみに、久しぶり登場の岡井君が、なぜサブではなくベンチか？ 開始5分前に突然現れて、みんなをびっくりさせたのはいいのだけど、エン

トリー間に合わなきやねえ…次回は早めに来るか監督に電話しといてね。

(レポート：鈴木)

Posted by kazy1956 at 20:13 | Comments(0) | TrackBack(0) | 13 クラブチーム選手権結果

2013天皇杯1回戦試合結果

◆ 1回戦 4/29 ○ 4-1 東北工業大学

試合会場：泉サッカー場東G（天然芝）

試合時間：80分

得点：高荷（20分、アシスト＝桑原）、桑原（22分、アシスト＝高荷）

桑原（25分、アシスト＝なし）、高荷（78分、アシスト＝なし）

先発：FW＝高荷直樹、大高康佑

MF＝桑原卓也、松浦弘志、茂木淳、才田悠人

DF＝清水悠、知場三周、加茂洋平、金田和鷹

GK＝印藤健也

交代：？分＝大高→残間諒

サブ：阿部健康、平野大地、船橋伯之

ベンチ：鈴木修平、秋保盛樹、舟橋富寿、小川修一

スタメンは前回とほぼ同じ。試合開始から6割以上ボールをコントロールできていたように見えた。前半20分、才田、桑原、高荷とつながり高荷のシュートが決まり1点。2分後、高荷からのパスを桑原がドリブルでゴール前まで迫り、これを決め2点目。更に25分、桑原が中盤でパスを受けると同時に一瞬で相手DFを抜き去り、左足で決め3点目。

後半に入り、相手の方もメンバーをフルに代えて攻めてきた。後半8分、DFの連携の乱れをつかれ1点を献上した。これで相手が元気付き押され気味になったが、大きな流れは相手には移らなかった。終了間際の38分、高荷が右ペナルティエリア外から、左足でゴール左隅に地を這うようなシュートを決めた。

結果は4-1となったが、点差ほどの力の差は無かったと思う。バックスの力がこの2試合では大きい。守備のほころびが無く、早め早めに危険の芽を摘んでいたこと、クリアが味方につながるように常に声をかけていたことが大きかった。これが攻撃の基点になって4点を生み出したといえる。

（レポート：鈴木）

Posted by kazy1956 at 17:17 | Comments(0) | TrackBack(0) | 13天皇杯結果

2013天皇杯2回戦試合結果

◆2回戦 5/5 ○2-2 (PK 6-5) 七郷クラブ

試合会場：泉サッカー場東G（天然芝）

試合時間：80分

得点：茂木（4分、アシスト=?）、金田（37分、アシスト=なし）

PK戦：清水、松浦、前田、知場、加茂、金田

先発：FW=平野大地、大高康佑

MF=知場三周、松浦弘志、茂木淳、才田悠人

DF=清水悠、阿部健康、加茂洋平、金田和鷹

GK=印藤健也

交代：28分=平野→前田竜幸、73分=大高→西本究

サブ：船橋富寿

ベンチ：鈴木修平、秋保盛樹、小川修一

前半開始4分、ペナルティアリア右外からシュート気味のボールがゴール前に、茂木がキーパーとクロスした直後、ゴールネットが揺れていた。昔、アーセナルゴールと言われ観客を熱狂させたゴールを思い出した。

このゴールで序盤は有利に進むかに見えたが、相手は長年培ったチーム力でパスを回しはじめ、次第にボールを支配していった。そして前半24分、1点を返され、続けて26分相手の絶好のチャンスを清水が体を張って潰したが、これがフリーキックとなる。このフリーキックを技ありで決められ1-2と逆転される。

これで相手のペースになるかと思われたが、前半終了間際37分、フリーキックを得る。金田の低いスピinnのかかった強烈なボールは相手のクリアを逆にシュートに変えてゴール。前半終了間際の貴重な同点ゴールとなつた。

後半は、双方チャンスはあったが決まらず、一進一退の攻防が続いた。前半素晴らしいシュートを決めた茂木だったが、後半何回かあったチャンスを決められれば、もっと楽な試合になったかもしれない。

そして2-2のままPK戦に突入。5人までお互いきっちり決める息詰まる進行。6人目、キーパー印藤がゴールを見事に阻止、最後を金田が左下隅に決めて6-5でPK戦に終止符を打った。

(レポート：鈴木)

社会人大会 1回戦試合結果

◆ 1回戦 5/19 ● 1-3 宮城教員クラブ

試合会場：仙台大学G（人工芝）

試合時間：80分

得点：茂木（73分、アシスト=なし）

先発：FW=平野大地、高荷直樹

MF=知場三周、茂木淳、桑原卓哉、前田竜幸

DF=加茂洋平、清水悠、金田和鷹、阿部健康

GK=残間諒

交代：なし

警告：清水悠、桑原卓哉、加茂洋平

サブ：印藤健也、船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、吉田和朝、（後藤泰治）

序盤、相手はDFラインの裏を突く展開。徐々にサイドで起点を作つてエリア近辺からスルーパスやクロスで崩しにかかる。基本技術がしっかりとおり、アタックに行く鼻先を簡単に回される。ハーフタイムでは、こちらの守備網にかからない相手攻撃に、1点勝負の空気が漂う。

後半は互いに決定機が増えてくる。相手は両サイドをワイドに使ってDFラインのギャップに仕掛けてくる。交代枠をうまく使ってきたこともあり、次第に運動量の差が見えてくる。

60分、サイドからカットインした相手選手が、25～30mくらいの地点からミドルシュート。アウトサイドにかかってシュート回転しながら落ちていくボールがゴール右上に突き刺さる。GK残間もノーチャンス。

63分、まだ時間はあると考えていた矢先の2点目が痛かった。これで攻守の切り替えがガクンと遅くなり、相手のスピードに乗った攻撃が威力を増していく。

70分、ダメ押しの3点目。トーナメントだけに勝負あったの感が強かつたが、今期まだ負けていないチーム、最後まで得点を取りに行く気持ちはあった。

73分、阿部のロングボールを知場がヘッドでスラして茂木へ。オフサイドラインぎりぎりで受けた茂木、速いドリブルでGKと1対1に。GKをかわしたところまではよかつたが、勢いがついてゴールライン間際へ。

（まさかのゴールラインを割る？）ベンチの心配をよそに、見事にゴール

に流し込んでようやく 1 点返す。

しかし反撃もここまで。結局はチームの連携熟度の差が後半のフィジカルの差になって現れたようだ。

今シーズン初黒星だが、最後に得点したことで、完敗は認めながらも下を向く選手はない。トーナメント 2 つとリーグも残っている。今後に期待しよう。

(レポート：吉田)

2013 天皇杯 3 回戦 試合結果

◆ 3 回戦 6/15 ● 1 - 4 マリソル松島

試合会場：松島フットボールセンター G (天然芝)

試合時間：80 分

得点：大高（60 分、アシスト＝なし）

先発：FW = 平野大地、大高康佑

MF = 前田竜幸、才田悠人、桑原卓哉、松浦弘志

DF = 阿部健康、茂木淳、金田和鷹、知場三周

GK = 印藤健也

交代：35 分 = 平野 → 残間諒

警告：知場（24 分 = ラフプレー）

サブ：船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、嶺岸優、小川修一、吉田和朝

相手は東北リーグ 2 部のチーム。形式的には 3 ランク上のリーグにいて、しかも今期は 3 位につける好調さ。当然苦戦が予想されました（控えも 2 人しかいないし）。

序盤は互角の試合運びのように見えたのですが。…。徐々に技術と判断力の差が見えてきます。14 分、ワイドに振られてゴール前のマークが少しづれたところに、左クロスからヘッド折り返され、フリーのヘッドで先制点を与えてしまいます。

どうもこの日は自陣内での連携ミスが多いように思われた。22 分、なんでもない DF 同士のパスミスから高い位置で奪われ、GKとの 1 対 1 を作られて失点。それでも、このまましのいでいけば、後半に勝負をかけられると思ったのですが、2 点差になったことで相手にはすっかり余裕をもったプレーを許してしまい、攻守ともにいなされる場面が増えています。こんなことでイライラしても仕方ないのですが、24 分明らかにアフター

タックルで知場がイエローをもらいます。38分には、又してもビルドアップのパスを連携ミスから奪われ失点。前半で3点差は厳しい。

後半に入ると、こちらと同様控え選手の少ない相手チームにも疲労の色が見えてきます。DFのチェックも甘くなり、60分、DFラインぎりぎりを抜け出した大高がGKをかわして得点。もう1点取れれば勝負は分からなくなる...というベンチの期待もむなしく、決定機はいつこうに増えないばかりか運動量も落ちてきました。

74分にはゴール前で振り回され、最後はノーマークの相手選手にダメ押しの4点目を決められて万事休す。

この流れで明日の朝一でのリーグ戦は不安を残すばかり。奮起を望む！
(レポート：吉田)

2013リーグ第3節試合結果

◆第3節 6/16 ○ 6-0 クライマックス

試合会場：宮城広瀬G（クレー）

試合時間：70分

得点：平野（14分、アシスト=なし）、高荷（36分、アシスト=なし）

茂木（43分、アシスト=金田）、高荷（46分、アシスト=茂木）

平野（53分、アシスト=なし）、茂木（66分、アシスト=なし）

先発： FW=平野大地、高荷直樹

MF=茂木淳、松浦弘志、才田悠人、前田竜幸

DF=阿部健康、清水悠、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代：57分=前田→残間諒

警告：なし

サブ：船橋富寿、大高康佑

ベンチ： 鈴木修平監督、嶺岸優、秋保盛樹、小川修一

前日の天皇杯の疲れが残る中、第一試合の9時キックオフはつらい。小雨ではあったがグラウンドの状態は悪くなかった。

立ち上がりは、お互い初めての対戦相手なので、様子見て経過したようだ。前半14分、平野がペナルティ右外でパスを受け、DFをかわしてドリブル・シュート。1点目が入った。この後チャンスは圧倒的に多かったものの得点にはならず、前半はそのまま終了した。

後半開始1分、中盤から高荷にパスが通った。高荷はDFにアタックされながらもトラップでかわし、すかさずシュート。強烈なシュートはドロップしバウンド、しかも右ポストに当たってゴール。「あれは取れないよなあ」と相手キーパーに同情する声がベンチで聞かれた。これをきっかけに、8分、金田の右コーナーキックを茂木がヘディングできれいに合わせて3点目。11分、茂木が左中盤からDFを2、3人抜き、ゴールライン近くから低いセンタリング。これにニアに走りこんだ高荷がキーパーの前でタッチし4点目。高荷のスピードとセンスが光る1点だった。18分、空きスペースに走りこんだ平野に絶妙のパスが通り、これを確実に決めて5点目。31分、後半出場の残間が好プレーでゴール前に迫る。3、4人に囲まれながらも粘ってシュートを狙う。その時ボールが茂木の前に・・・おいしい6点目。これは残間のアシストかどうか、ベンチで話題となった。

今日の試合を振り返って。4点目はDFにとっては最も嫌な形であり、得点に結びつく確率が高い形である。我々もこれまで何度もこのパターンで失点した。しかし、この形での得点ができるようになると、更に良い試合ができ、結果もついてくるようになると思う。

(レポート：鈴木 修平)

2013リーグ第4節試合結果

◆第4節 6/23 ○ 1-0 FCプレジ

試合会場：宮城広瀬G（クレー）

試合時間：70分

得点：茂木（40分、アシスト=なし）

先発：FW=残間諒、高荷直樹

MF=茂木淳、清水悠、船橋伯之、平野大地

DF=加茂洋平、後藤泰治、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代：24分=船橋→前田竜幸、50分=残間→阿部健康

警告：平野（26分、遅延行為）、知場（42分、異議）

サブ：船橋富寿、松浦弘志

ベンチ：鈴木修平、嶺岸優、小川譲次、秋保盛樹、小川修一、吉田和朝

相手は暫定ながら前節まで首位のチーム。接戦が予想された。10分、ゴール前でフリーになった船橋が、ビッグチャンスに慌てたのか、フィニッ

シュを空振り！ ベンチのため息を誘う。本人は、「絶対入れなきゃと思ったら力が入りすぎた」と弁解しておりました。ボランチの位置からシュートゾーンに顔を出すところまでは完璧だったんだけどなあ。

22分、GK本職とは思えない見事なターンですり抜けた残間がシュートを放つも、力みすぎたかボールはバーの上へ。24分、高荷の折り返しを、またも残間がダイレクトで強烈に枠を狙うものの、今度はGKの正面を突いてしまう。それでも相手GK、いまどき「素手」とはナメてないか？ 26分、オフサイドにかかった平間が、笛の後にシュートしてしまいイエローをもらう。本人曰く、蹴る体制になってたので止められなかつた、と。まあね、ゴールに入れときや遅延行為はとられなかつたと思うよ。バーのはるか上に行つちやうものだから、相手も抗議してたものね。

という具合に、前半はスコアレスで終了。ペースを握って決定機もつかんだのに決めきれない。あとで後悔しなければいいのだが。ここで、光っていたのは、残間のラストパスやフィニッシュ、清水のバランスを取りながらのボールの散らしでした。

一方、相手はトップやサイドのオープンスペースにロングボールを合わせ、2列目が一気に押し上げてフィニッシュを狙ってきたようだが、こちらのDFラインを崩しきることはできなかつた。

後半に入つてもまだペースはつかんだまま。40分、加茂のロングパスを足元に納めた茂木、いつもより華麗なステップワークを見せて、反転と同時に相手DFを抜き去つてGKと1対1に。冷静に右脇を抜いて、貴重な先制点をゲット。しかし、均衡が破れたことでゲームは動き出す。互いにボール際での攻防が激しくなり、ファウルの数が増えていく。

42分、判定に異議を唱えたのか、知場が警告を受けてしまう。カードホルダーの面目躍如かとベンチで冗談を言つたら、前節のカードは濡れ衣で、彼に出されたものではないらしい。記録訂正しときます。すまぬ知場。

緊迫するピッチではあったが、違う意味での盛り上がりも見せていた。

先日、急な辞令を受けて福岡転勤が決まり、この試合が最後となる清水の得点なるか、だ。試合後に聞いてみると、みんなかなり意識していたらしい。「清水さんに取らせようと思って」パスしたメンバーが何人かいたことは事実だ。精度の問題はあるようだが。

で、50分、右FKにフリーで飛び込んだ清水、残念ながらゴールエリア内でボレーに失敗。「そこはダイビングヘッドでしょ！」と盛り上がるべ

ンチ。55分には、見事に（というか相手のミス?）オフサイドトラップをすり抜けた高荷と茂木であったが、なぜかドリブルをゆずりあつたり同時にタッチしたりしているうちにボールを失ってしまう。ダチョウ俱乐部のギャグじゃないんだから。

65分、またも清水がゴール前に進出してボレーシュートするも枠には行かず。今日は君の日ではなかつたな。

終了間際の70分、相手フィニッシュがかろうじて枠をはずれ、ほっと胸をなでおろしたところでタイムアップ。なんとか勝ち点3を奪うことができた。よかったです。

試合終了後、みんなに胴上げされる清水。写真撮ったけど、誰の顔も写っていない。カメラの腕のほうは棚上げにして、一応アップしときます。夜の部の歓送会のも。

(レポート：吉田)

2013クラブ選手権2回戦試合結果

◆2回戦 7/7 ○ 3-0 多賀城FC

試合会場：白石川サッカー場（人工芝）

試合時間：60分

得点：平野（20分、アシスト=なし）、大高（31分、アシスト=なし）

桑原（39分、アシスト=なし）

先発：FW=大高康佑、平野大地

MF=高荷直樹、松浦弘志、桑原卓哉、才田悠人

DF=加茂洋平、後藤泰治、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代：

38分=平野→前田竜幸

45分=知場→阿部健康

50分=大高→残間諒

55分=桑原→船橋富寿

警告：桑原（51分、遅延行為）

サブ：全員交代出場

ベンチ：嶺岸優、吉田和朝

相手は県リーグ2部ながら、チーム事情か選手が揃わず、開始時は10

人だった。定石として、ボールを動かして相手を引き寄せギャップを狙うか、サイドで数的優位を作つて崩すか、相手の脚を使わせて後半勝負に持ち込むか、いろいろ手はあるのだが、今日は何と無く試合に入ってしまった。それでもボールは支配しているため、決定機は何度か迎えることが出来ている。

開始2分、平野が右からドリブルで持ち込みファーストシュートを放つ。GK正面ではあったが、ペースを掴むには良いタイミング。6分、桑原が右サイドからカットインしてシュート。これもバーの上だったが、可能性を感じさせるフィニッシュだった。

11分には、桑原がドリブルで中に切れ込んでDFラインを押し下げ、今度は後ろからフォローした高荷へ落としてシュートに持ち込ませる。これもGKがブロックしたが、変化を付けた攻撃パターンはOKだ。

18分、左からSB加茂の好クロス。フィニッシュに持ち込むもDFにブロックされる。決定機をつかみながらも得点できず、そろそろいやな展開になりかけたように感じられる。

だいたい、相手が10人なので、余裕を持って崩しに行けばいいのに少し落ち着きが足りないか？．．．と思っていたら、相手が少ないのに気づかなかつたという選手が多いことがハーフタイムに判明。ベンチワークもイマイチだったか。それでも20分、加茂のインターセプトからカウンターに。平野が抜け出して仕掛けるが、なぜかゴールに向かって狭い方にタップを入れる。GKの思う壺では？と首をかしげた瞬間、ゴール左上にファインゴールを突き刺す平野。大変失礼しました。最初から狙つてたのね。このまま前半は1-0で折り返し。

後半も攻勢は続く。開始直後の30分、大高がフリーで持ち込むも、確実性を取つて左から走りこむ平野へパス。どう見ても後方から飛び込んだように見えたものの、副審の判定はオフサイド。なぜだ！？！

気を取り直して31分、大高が相手DFのGKへのバックパスを奪う。1対1になったGKをかわして冷静にゴールを決めて2点差。

続く35分、今度は平野が高い位置でボールを奪い、受けた松浦がクロスも大高はシュートミス。

39分、位置どりの巧みな大高が微妙なオフサイド破り（？）。これに反応していた桑原が、2列目から抜けてドリブル。ゴールにはなつたものの、GKひきつけすぎてクロスプレーに。なんとGKは負傷退場してしまい、相手は9人に。

桑原よ、もっと早いタイミングでフィニッシュしてれば、クロスプレーも無ければG K負傷も無かったなあ。

51分、桑原がオフサイドの笛の後にボールを蹴って警告を受ける。やはり悪いことはできないな。が、前週同じパターンでイエローもらった平野、「気持ちはわかるなあ」とベンチでポツリ。

悪行(?)の数々(笑)でレフリーに悪印象を与えたかもしれない、危ない桑原交代。

61分、その交代策がはまったかのようなシーンが。やはり途中出場の残間のクロスを船橋がニアで合わせる。惜しくもボールはバーの上。試合後の船橋コメント。「4.5点入っていたので気持ちの余裕はあった」??何点差か本人もわからずプレーしてらしい。久々の出場で、さすがの超ベテランも舞い上がってたか?

いずれにしろ、これでセミファイナル進出決定!次勝てば、東北大会とユアスタでの決勝が待っている。燃えないわけにはいかんねえ!

(レポート=吉田)

2013クラブ選手権準決勝試合結果

◆準決勝 7/14 ● 1-2 デュオパークFC

試合会場: 泉総合運動場(人口芝)

試合時間: 60分

得点: 残間(32分、アシスト=才田)

先発: FW=大高康佑、残間諒

MF=高荷直樹、桑原卓哉、才田悠久、前田竜幸

DF=加茂洋平、後藤泰治、金田和鷹、知場三周

GK=印藤健也

交代: なし

警告: なし

サブ: 阿部健康、船橋富寿

ベンチ: 嶺岸優、秋保盛樹、吉田和朝

相手は県リーグ1部のチームで、この日に備えて(?)規定いっぱいの18人登録。こちらは逆に少數精銳(?)の13人登録。気候を考えると厳しい展開か。立ち上がり、先に攻勢をかけたのはこちらの方だった。キックオフ直後、高荷から大高へ渡りファーストシュートが枠に飛ぶ。し

かし、ここは相手GKのセーブで得点にはいたらずも、幸先の良いスタートが切れた。続く3分、今度はこちらのDFの処理ミスから相手にシュートされる。が、これはサイドネット外側にはずれてホットとする。その後も決定機は続く。

9分、右からのFKを金田がゴール前に入れるも、飛び込んだ桑原わずかに合わず、ボールはゴール左へ流れる。11分、GK印藤のロングキックが相手陣内の大高の頭上へ。大高、意識的かどうかは分からぬが背中でコントロール。その後の持ち出しも素晴らしい、左サイドをえぐって残間へマイナスのクロス。しかし、フリーで待ち受けた残間、惜しくも合わせきれず枠を外す。20分には、右サイドのスローインから相手を崩し、高荷のポストプレーから桑原がフィニッシュするも、今度はうまくミートせずゴール右へ。前半はこちらの好機が多かったように思うが、決めきれないと後が怖い。何しろ相手は交代カードが5枚使えるのだ。

後半開始もなくの32分、左CKを才田がニアに速いボールを入れる。これを残間が絶妙にスラすと、さすがの相手GKもキャッチできず、待望の先制ゴールが生まれた！こうなると相手は前掛かりに出て...こないね。まずはこちらのDFラインを下げさせるために、ロングボールを何本か入れてきた。蒸し暑いピッチでこれを繰り返されるとつらい。徐々にDFの押し上げが遅くなってくる。ここで相手はDFと中盤の間にポジショニングする選手にボールを預け、食いついてくるDFラインが乱れたところにスルーパスを多用してくる。どうやら本来の相手チームの攻撃パターンが出始めたようだ。

39分、エリアすぐ外の相手FK。早いリスタートにマークがずれ、フリーでヘディングシュートを許すものの、枠を外してくれた。44分には、例のパターンでDFラインを破られ、GKと1対1のピンチに。ここも相手がシュートミスしてくれたおかげで救われる。

しかし、このあたりから、相手はドリブルも交えた多彩な攻撃を仕掛けてくる。これは足の止まり始めた守備網に対して有効だ。そしてついに54分、右サイドでの寄せが甘くなったところを、きれいなクロスを入れられてヘッドで同点シュートを許してしまう。控えの少ないこちらとしては、延長にはなりたくない、かといって残り時間で勝ち越せるような展開になっていない。モチベーションが若干落ちかけたようにベンチからは見えた。

予感は悪いほうにあたるもの。すぐ後の56分、オフサイドトラップを

破られ、クロスからフィニッシュされる。これはG K印藤がなんとか弾いたのだが. . . ゴールカバーに入ろうとしていた知場の身体に当たって、不運にもオウンゴール。同点ゴール後に切り替えができていれば避けられる失点だったかも知れない。しかし、相手チームの試合運びのうまさが一枚上だったと認めるほうがよさそうだ。

その後反撃ムードは盛り上がりらず、7年ぶりの優勝も、ファイナリストにたどり着くこともならなかった。東北大会出場とユアスタでの決勝を、惜しいところで逃したことは、本当に残念だ！とはいえ、これでリーグに集中できるとも言える。残り全勝して5年ぶりに優勝しよう！

(レポート：吉田)

2013リーグ第6節試合結果

◆第6節 8/4 ● 0-2 A C シュバルツ

試合会場：宮城広瀬G（クレー）

試合時間：70分

得点：なし

先発：FW=平野大地、高荷直樹、大高康佑

MF=前田竜幸、残間諒、秋保盛樹

DF=加茂洋平、金田和鷹、茂木淳、松浦弘志

GK=印藤健也

交代：35分=秋保→船橋富寿

警告：なし

サブ：なし

ベンチ：鈴木修平監督、嶺岸優、小川譲次、小川修一

当日は当番チームのため朝8時前から集合し、ゴール作りやグランド整備を行った。今日の相手は「A C シュバルツ」。連敗中であり、こちらで1勝しないと後が無い状況にあった。こちらは諸事情でメンバーが十分揃わず、当日最終戦で副審をお願いしていた秋保さんにも出場をお願いすることとなった。

立ち上がりから相手の気迫溢れるプレーに押される展開となった。まだ試合に馴染んでいない前半5分、ペナルティーエリア右からゴール左隅に決められる。その後、持ち直して試合を進めたが、相手の気迫が上回つて0-2で初黒星となった。

秋保さん、船橋さん炎天下の中ご苦労様でした。

【余談】

第4試合で、シュートしたボールが、道路を走行中の車の右ドアに直接当たるという事故がありました。クレームが来て対応しましたが、「保険」で対処できるということがわかりました。仙台リーグ始まって以来の事故だったようです。

(レポート：鈴木修平)

2013リーグ第7節試合結果

◆第7節 8/18 ○ 4-2 OCT愛子

試合会場：泉総合運動場G（人工芝）

試合時間：70分

得点：大高（27分、アシスト=茂木）、茂木（45分、アシスト=才田）

大高（56分、アシスト=高荷）、大高（67分、アシスト=なし）

先発：FW=平野大地、高荷直樹、大高康佑

MF=松浦弘志、茂木淳、才田悠人

DF=加茂洋平、後藤泰治、金田和鷹、阿部健康

GK=印藤健也

交代：なし

警告：大高（？分、？）

サブ：残間諒、船橋伯之、西本究、船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、小川修一、小川譲次、吉田和朝

現在、負けなしで首位の「OCT愛子」が今日の相手。30度を超す猛暑の中でキックオフ。グランドが良いのが救いだった。立ち上がりはお互い慎重に相手の出方を見ながら、炎天下での試合運びを模索する出だしだった。18分、高荷が相手を巧みに抜いて強烈なシュートを放つがキーパーの攻守に阻まれる。

試合が動いたのは27分。茂木が左から相手を鮮やかにドリブルで抜いてセンタリング。大高が絶好の位置でヘディングを決めて1-0。

後半に入って45分、左のコーナーキックを得る。これを茂木が右ゴールライン付近で相手バックスに競り勝ち、素晴らしいヘディングを決めて2-0。53分に相手に1点を返されるが、56分、高荷が中盤から2、3人の相手をひきつけながらドリブルでせり上がる。トップスピードでもボ

ディバランスは崩れず、ラストパスを大高に。これを確実に決めて3-1。再度1点差に詰め寄られた67分、中盤にいた大高にパスされたボールは、相手バックスの守備範囲にあった。ボールはキーパーに渡るかと誰もが思ったその時、大高はバックスの後ろからあっという間に前に出て、キーパーと1対1になってしまった。これも決めて4点目。このところ得点の機会に恵まれなかった大高が大活躍の試合だった。

炎天下の中、DFもMFも集中が切れなかつたし、全員がスピード・スタイルともに落ちない良い試合だった。全勝のチームに土をつけたことで、リーグ戦の行方はまた混戦となってきた。

(レポート：鈴木修平)

2013リーグ第8節試合結果

◆第8節 9/8 ○ 6-1 仙台向山FC

試合会場：中田中央公園G（クレー）

試合時間：70分

得点：加茂（1分、アシスト=金田）、平野（8分、アシスト=茂木）

大高（12分、アシスト=なし）、松浦（30分、アシスト=知場）

茂木（36分、アシスト=平野）、大高（38分、アシスト=高荷）

先発：FW=高荷直樹、大高康佑

MF=松浦弘志、茂木淳、才田悠人、平野大地

DF=加茂洋平、後藤泰治、金田和鷹、知場三周

GK=船橋富寿

交代：なし

警告：加茂（65分、？）

サブ：なし

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹

夜半から降り続いている雨が止まず、グラウンドは軟弱で、大きな水たまりがいたる所にできていた。メンバーも若手が10人。キーパー2人は来れないことが分かり、ちょっと困ったムードになりかかったが、船橋さんがキーパーを引き受けされることになりキックオフ。

試合が始まってみると、相手は10人だった。試合開始直後1分、中盤でフリーキックを得る。金田は、珍しく高いボールではなく低く早いボールを蹴った。ボールはDF加茂に渡り、滅多に無い機会を得意の左足で先

制ゴールネットを揺らした。1-0。この後、8分に茂木が中盤から相手を抜いてゴールライン近くでセンタリング、これに平野がヘディングで合わせて2-0。12分、味方コーナーキックを相手ディフェンダーがクリア、これをペナルティーエリア付近で待ち構えていたように大高がボレーシュート。見事にサイドネットに突き刺さって3-0。

30分、中盤右でボールを奪った知場がドリブルで上がる。ゴール前に早いクロスを上げる。抜けたかと誰もが思った時、後ろから突っ込んできた松浦が素晴らしいヘディングシュート。豪快に決まって4-0。次の試合のために観戦していた選手たちから「おおー！！」という歓声が聞こえた。

後半に入った直後、相手のパスをよく読んでカットした後藤から、右に開いていた平野にボールが渡る。平野は巧みにドリブルで相手をひきつけ、空きスペースに走りこんだ茂木にラストパス。茂木、狙いすましてゴール隅に決めて5-0。38分にも高荷がペナルティーエリア中央でパスを受け、右の大高に。大高がこれを決めて6-0。

相手も点差は開いたが最後までよく戦った。22分には中央を突破し東北クラブに一矢報いた。相手は10人ながら運動量も落ちず、試合運びも巧かった。11人だったら勝負はこのような大差にはならなかつたであろう。1人の差は大きかつた。

(レポート：鈴木修平)

2013リーグ第9節試合結果

◆第9節 9/29 ○ 1-0 宮工クラブ

試合会場：宮城広瀬G（クレー）

試合時間：70分

得点：平野（60分、アシスト=船橋伯之）

先発：FW=大高康佑、平野大地、船橋伯之

MF=前田竜幸、才田悠人、残間諒

DF=加茂洋平、金田和鷹、知場三周、阿部健康

GK=印藤健也

交代：なし

警告：なし

サブ：船橋富寿、吉田和朝、秋保盛樹

ベンチ：鈴木修平監督、小川修一、佐々木元樹

今日の相手は現在首位の宮工クラブ。勝った方が優勝に大きく近づくことは誰もが認識していた。9月は学会のシーズンということもあり、マスターが多い我がチームは参加できないメンバーが4人いた。ベストで臨みたいのは山々だが、これも運命と割り切って試合は始まった。

秋晴れで天気は良いが少し暑い。カチカチのグラウンドに両チームともボールコントロールに苦しむ。試合は、お互に譲らず0-0で推移した。宮工クラブには、過去2年間勝っていない。いつも両サイドから切り込まれ、ゴール前に低く、早いボールをクロスされ、それに合わせられて失点してきた。しかし、今日はそれをバックスが意識的に封じ、危ない場面はほとんどなかった。

60分、今日何度も相手のラフプレーに悩まされていた知場が、相手ボールを奪った。このときも激しいボールの奪い合いだったが、知場は切れず粘り強くボール奪取に成功して才田につなぐ。才田は右にポジションチェンジしていた船橋(伯)へ鋭いパスを送る。これはバウンドしてややルーズになりかける。しかし、船橋(伯)は完璧なタッチで頭で落とす。これが相手DFラインの間を絶妙に抜けて平野に渡る。平野は平野で見事なファーストタッチですり抜け、目の前にはキーパーだけとなつた。ゴールまではまだ距離がある。しかし、これまで前線で何度も潰されながらもチャンスをじっと待っていた平野は、迷わずシュート。ボールはゴール左隅を揺らした。GKのタイミングを外した間といい、コースといい、素晴らしいフィニッシュだった。

相手はいつものサイドからの攻撃もできず、得点もできず徐々にプレーが粗くなってきていた。それをして我慢して良いプレーに徹してきたことが決勝点に結びついたと言える。また、オフェンスのプレーヤーが相手DFのパス・コースを狭めるように動き続けたことが攻撃のチャンスを作ったと思う。

昔、ある有名プレーヤーが言っていた。「89分良いプレーができなくとも、残りの1分で勝利に貢献できれば、全て帳消しになる」と。

(レポート：鈴木修平)

2013リーグ第2節（延期分）試合結果

◆第2節 10/13 ○ 5-1 広瀬クラブ

試合会場：中田中央公園G（クレー）

試合時間：70分

得点：高荷（1分、アシスト＝後藤）、高荷（12分、アシスト＝桑原）

平野（23分、アシスト＝才田）、松浦（28分、アシスト＝桑原）

茂木（40分、アシスト＝なし）、

先発：FW＝平野大地、高荷直樹

MF＝桑原卓哉、松浦弘志、才田悠人、茂木淳

DF＝加茂洋平、金田和鷹、後藤泰治、阿部健康

GK＝印藤健也

交代：平野→西本究（45分）

警告：後藤（27分、？）

サブ：残間諒、大高康佑

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、小川修一、佐々木元樹

良い天候であったが、ゴールキックが戻ってくるような砂嵐の中での試合だった。開始早々1分、ボールを奪ったDF後藤から高荷に縦パス、高荷は右ペナルティーエリア付近から思い切りよくシュート。ロビングだが強烈なボールはあつという間にゴール左隅に決まった。相手にとっては戦意を削がれる嫌な得点だったと思う。

高荷は12分にも桑原からのボールをゴールエリアでシュート、キーパーは触ったがゴール右隅に突き刺さり2点目を決める。23分には才田のコーナーキックを平野が決め3点目。28分には、右からドリブルでゴール前に迫った桑原が、足元が悪い中ゴール前を横切るパス。これに松浦がペナルティーエリア付近からシュート。地を這うような弾道でゴール右隅のネットを揺らし4点目。

後半もボールをよくつなぎ度々チャンスを作った。40分、左からドリブルで切り込んだ桑原からパスを受けた茂木がゴール前でしぶとく競り勝ち5点目を入れた。52分、相手FWの反則まがいのプレーにDFが戸惑っている隙に中央を突破され1点を献上した。

相手にはスピードのある選手が多く、何度か中央を突破されかけたが得点には至らなかった。抜かれても次のフォローがあるので決定的な場面にはならなかった。強風の中、ヘディングの目測がずれて当たらないという事態がDFを悩ましたが、こういう試合も良い経験になると思う。残り1試合が優勝決勝戦となつた。

（レポート：鈴木修平）

2013リーグ第5節（延期分）試合結果【追記】

【試合内容追記しました】

最終戦勝利！ 7勝1分1敗の勝点22で5年ぶり優勝！！！

◆第5節（延期分） 10/20 ○ 2-1 F C ロッソル

試合会場：中田中央公園G（クレー）

試合時間：70分

得点：高荷（40分、アシスト=なし）、高荷（69分、アシスト=なし）

先発：FW=平野大地、高荷直樹

MF=前田竜行、松浦弘志、才田悠人、茂木淳

DF=加茂洋平、金田和鷹、阿部健康、野口憲太

GK=印藤健也

交代：28分=前田→知場三周

警告：なし

サブ：西本究、船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、小川修一、嶺岸優、小川譲次

最終試合が優勝決定戦となった。雨は少し降っていたが、グランドは硬くなく柔らかすぎずコンディションとしては悪くなかった。開始早々、F C ロッソルの気迫には並々ならぬものが感じられた。もともと当たりの強い、スピードのあるチームではあるが、これまでの中で一番気合が入っていた。

最近2回の対戦成績は1勝1敗。勝った時は相手が空中戦を多用した時。負けた時は、スピードあるパスとドリブルで中央やサイドから突破された時だった。今回は、中盤から早いスピードでMFを振り切り、フリーでラストパスを出す攻撃に終始され、負けた時のパターンが脳裏をよぎる。更に、試合が荒れないか心配するほど激しい当たりが多かつた。

ゴールされるのは時間の問題かと思われた25分、ヘディングで決められ0-1。前半が終了した。

前半はゴール前で何度もピンチが続いた。中盤で2、3回パスを回されあつという間にキーパーと1対1になり、シュートされる。キーパー印藤の捨て身のブロックでゴールを阻止したことが1度や2度ではなかった。また、完全にフリーでシュートされ、入ったかと観念したら、ポストに当

たって入らなかったり、運はこちらにあるように見えた。

後半開始5分、相手の激しいボディチェックをものともせずに、中盤付近からスピードに乗ったドリブルで切り込んだ高荷、皆の期待通りのシュートを強烈に決めた。チャンスを自らつくり、一発で決めた勝負強さが流れを変えた。ボールを支配する場面が多くなりチャンスも作れるようになつた。しかし、その後もピンチは数多くあったが、キーパー印藤はゴールを許さなかつた。

終了近く、体を張って中盤からペナルティーエリアまで相手を突破してきた知場からのボールが、ゴール前でつながり、最後は高荷がゴール前に走りこんで、2点目を決めた。その時、すでに相手には逆転するのに十分な時間はもう残つていなかつた。激しくなつた雨の中、タイムアップの笛が鳴つた。プレーヤーとベンチから滅多にない歓声が上がつた。それほど感激的な勝利だつた。

(レポート：鈴木修平)

宮城県サッカーリーグ昇格選考試合・予定

本日、標記試合の組合せ及び試合日程が決まりましたのでお知らせします。
当初8チーム参加の予定でしたが、石巻リーグが辞退したため、7チームでのリンク戦となります。

予選リーグ

- ・1試合目：11月17日（日）10:00 vs 田尻FC @宮城県サッカー場Cグラウンド
- ・2試合目：11月24日（日）14:00 vs BOA SORTEさくら @宮城県サッカー場Cグラウンド
決勝トーナメント（予選で4位以内の場合）

- ・準決勝：11月30日（土）10:00又は12:00 @宮城県サッカー場Aグラウンド
- ・昇格決定戦：12月1日（日）13:00～@宮城県サッカー場Aグラウンド

※上記決定戦で勝利の場合、宮城県リーグ2部昇格、敗戦の場合、以下の入替戦へ。

入替戦（勝利の場合のみ昇格）

- ・12月15日（日）10:00～@宮城県サッカー場Aグラウンド（予定）

宮城県サッカーリーグ昇格選考試合・1日目試合結果

◆予選リーグ 11/17 △ 3-3 田尻FC

試合会場：宮城県サッカー場Cグラウンド（人工芝）

試合時間：80分

得点：平野（7分、PK）、桑原（61分、アシスト=平野）

金田（71分、直接FK）

先発：FW=平野大地、高荷直樹

MF=桑原卓哉、松浦弘志、才田悠人、茂木淳

DF=野口憲太、金田和鷹、後藤泰治、知場三周

GK=印藤健也

交代：50分=才田→前田竜行、50分=野口→阿部健康

67分=松浦→西本究

警告：才田、後藤

サブ：船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹、小川修一、嶺岸優、吉田和朝

相手は大崎リーグ1位のチーム。試合が始まると、相手選手のモチベーションも高く、フィジカルでは後れを取っていた。攻撃パターンは、サイドバックからのサイドチェンジとDFラインの背後狙いという単純なものではあったが、前線からのプレスが効かないため、再三DFが背走させられることに。

また、こちらの攻撃は单调で、中盤でのタメが少なく、前線へのファイドが忙しくなると、パスをカットされてピンチを招くことも多かった。そんな中でも、7分に相手DFの不用意なハンドリングで得たPKを、平野が左ポストに当てながらも決めて先制する。その後も優位に試合を進め、前半の決定機は4～5回あったが、これをことごとく外してしまう。

こうなると流れは相手に。前半終了間際のアディショナルタイム。中盤のミスから右サイドを破られ、しっかりとクロスに合わされて同点に。

後半になっても流れを引き寄せられない。中盤のプレスのかけどころが一定せず、DFラインも不安定なまま。46分にはDFの連係ミスからGKとの1対1を作られて逆転されてしまう。54分には、珍しいGKのキャッチミスで手痛い3失点目。これで勝負ありかと思われた。

ところが61分。それまで再三の決定機を逃していた桑原が、左サイドを崩した平野のクロスに落ち着いて合わせて1点差に。71分に得た、相手ペナルティエリアすぐ外でのFK。金田の放ったシュートは、地を這うように右のサイドネットを揺らす。土壇場で同点に追いついたものの、結局勝ち越すことはできずに、初戦はドローで終えることとなった。

この試合、反省点は多い。ボール奪取の位置を最後まで決めきれなかったこと。高荷が中盤へ降りてくると、ボールを前線で引き出す選手がいなくなること。最終ラインと2列目でのボールロストが異様に多いこと。ファニッシュの精度が極端に低いこと。空中戦で劣勢になったこと。これで引き分けたのが不思議なくらいであった。

それでも次につなげることはできた。次戦勝てば決勝トーナメント進出は濃厚だ。勝ち点ゼロと1の差は大きい。

(レポート：吉田)

宮城県サッカーリーグ昇格選考試合・2日目試合結果

◆予選リーグ 11/24 ○ 5-1 BOA SORTE さくら

試合会場：宮城県サッカー場CG（人工芝）

試合時間：80分

得点：大高（9分、アシスト=才田）、平野（32分、PK）

茂木（36分、アシスト=平野）、大高（38分、アシスト=茂木）

大高（62分、アシスト=なし）

先発：FW=平野大地、高荷直樹、大高康佑

MF=桑原卓哉、才田悠人、茂木淳

DF=加茂洋平、金田和鷹、後藤泰治、知場三周

GK=印藤健也

交代：67分=平野→西本究、70分=加茂→阿部健康

75分=才田→前田竜行、75分=桑原→松浦弘志

警告：後藤泰治、知場三周

サブ：船橋富寿

ベンチ：鈴木修平、嶺岸優、秋保盛樹、小川修一、小川譲次、吉田和朝

前回かろうじて引き分けに持ち込んだ予選リーグであった。上位4チームがトーナメントに出れることができるが、周りの話を聞くと、負ければ予選落ち、勝てば1位となるような状況であった。相手は1勝しているので、この試合に勝って是非決勝トーナメントを確実にしたいはず、お互い気合の入ったキックオフとなった。

試合は先週の試合で固さもとれ、まずまずの出だし。試合はどちらが先取点を取るかで大きく流れが変わるように見えた。前半9分、先取点を取つ

たのは東北クラブだった。才田のコーナーキックをペナルティーエリア左にいた大高がボレーシュート。あまりにも綺麗に決まつたので、一瞬静寂が広がり、歓声が後からついてきたほどだった。その後は一進一退でどちらに流れがきてもおかしくない状況だった。そして32分、いいパスが大高に通りフリーでドリブル。キーパーは一対一になる前に勝負に出てきた。しかし、止めるためには反則をせざるを得なかつた。このPKを平野が決め、流れは一気に東北クラブに傾いた。36分茂木、38分大高が得点し。4-0となる。前半で4点差はひっくりかえすにはちょっと難しい数字となつた。

後半に入り、59分にフリーキックから1点を返される。これで流れを変えようと、相手は何人も交代して反撃してきた。しかし、62分大高が5点目を決めて勝負あつたという感があつた。

この試合で良かった点は、前半FWとMFが相手バックスにフリーでパスをさせないようにかなり動いてくれたこと。そのため、相手のパスの精度が落ち、中盤でインターセプトが可能となり、結果中盤の支配率が上がつたと思われる。反面、後半は疲れが出て相手にフリーでパスを許したため、自由にパスを回され突破される場面が何度かあつた。次回はこれをどう改善できるかがポイントになるだろう。

(レポート=鈴木修平)

宮城県サッカーリーグ昇格選考試合・3日目試合結果

◆準決勝 11/30 ○ 1-0 BOA SORTE さくら

試合会場：宮城県サッカー場AG（天然芝）

試合時間：80分

得点：金田（76分、FK）

先発：FW=平野大地、大高康佑

MF=松浦弘志、桑原卓哉、才田悠人、茂木淳

DF=加茂洋平、金田和鷹、後藤泰治、知場三周

GK=印藤健也

交代：60分=平野→残間諒

警告：なし

サブ：阿部健康、西本究、船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、小川修一

先週 5－1 で勝っている相手だったが、試合が始まると別のチームのような印象を受けたほど試合運びが違っていた。空中戦も一步前で勝負し、パスに対しても厳しく詰めて来る。こちらがやろうとしていたことと同じことを考えていました。前回 3 得点を入れた大高に対してはそれが更に徹底していた。彼以外の FW・MF にも自由にプレーさせないように、激しいボディ・チェックが目立った。

チャンスはこちらの方が多かったが、相手の気迫が優ったなかなか得点に結びつかなかった。

後半も残り 10 分を切り、このままいくと PK 戦か、はたまた 1 点を入れられて負けるかというような雰囲気になりつつあった。そして終了間際の 76 分、相手ペナルティアリア右辺りで直接フリーキックを得る。キッカーは金田。これまで何度か決めているだけに期待が膨らむ。そして、金田の蹴った強烈なボールは相手ディフェンスの壁をすり抜け、ゴール左のサイドネットを揺らした。

プレーヤーからもベンチからも歓声が上がる。両チーム手に汗握る緊迫した試合はこのゴールが決勝点となって 1－0 で幕を下ろした。

(レポート=鈴木修平)

宮城県サッカーリーグ昇格選考試合・4日目試合結果

◆決勝 12/1 ○ 5－1 エスペランサ登米 FC

試合会場：宮城県サッカー場 AG（天然芝）

試合時間：80分

得点：平野（5分、アシスト＝なし）、大高（7分、アシスト＝高荷）

高荷（25分、アシスト＝茂木）、茂木（52分、アシスト＝金田）

平野（62分、アシスト＝なし）

先発：FW＝高荷直樹、平野大地、大高康佑

MF＝松浦弘志、才田悠人、茂木淳

DF＝加茂洋平、金田和鷹、後藤泰治、知場三周

GK＝印藤健也

交代：65分＝松浦→野口憲太、70分＝加茂→阿部健康

70分＝平野→西本究

警告：なし

サブ：残間諒、船橋富寿

ベンチ：鈴木修平監督、秋保盛樹

前日は同じ相手と2週に渡り厳しい試合をすることとなった。今日の相手は「エスペランテ登米FC」。初めて対戦する相手だ。試合開始後、お互い相手の技量を体で知ろうとするプレーが続く。相手はスピードもあり、足技もうまい。突破力はどうか？

そんな時間が5分ほど続いたが、いきなり平野がパスを受けてドリブル。あっという間にキーパーと一対一になった。キーパーは目の前まで来ていたが平野はこれを右にかわし、ボールは無人のゴールに吸い込まれていった。その2分後、今度は平野、高荷、大高とパスがつながり、最後は仕事人大高が強烈なシュートで締めくくった。

昨日のように0-0で行く展開を予想していたが、開始早々試合は動いた。相手は、流れを引き寄せるために当たりも強くなり、中盤を支配し、チャンスも多くなっていった。40分は長い。同じ流れは長く続かず、ちょっとしたミスから形勢が逆転しピンチに陥る。しかし、これまで何度もそういう場面を経験してきたこのチームは、そうそうたやすく相手に流れを渡さなかった。25分、持ち前のスピードで左からドリブルでバックを何人も抜いて茂木が見事なセンタリング。これをゴールエリア付近で、待っていたかのように高荷は左足でボレーシュート。昔イングランドにピーター・ロリマーというボレーシュートの名手がいたが、それを彷彿とさせた。3-0になり、これで相手は意気消沈すると思いきや、逆に声を出し合って盛り返そうとしてきた。31分、果敢に中央突破して1点を返してきた。こういう相手は怖い。もう1点を返されると試合をひっくり返される可能性がある。そういう感じをいだかせるチームだった。

ハーフタイムの話し合いで、3-1であることは忘れ、0-0のつもりで臨む事をプレーヤー同士が確認していた。

後半に入って相手の方にチャンスが多くなったように思えたが、全員が参加しての堅い守りは得点を許さなかった。気力の方ではこちらが上回っていたように見えた。そして52分、金田のフリーキックを茂木が素晴らしいヘディングで決めた。更に62分、ゴール前でボールがピンボールのように何人かに当たり、最後は平野のヘッドに当たりゴール。ゴール前に詰めていた執念が実ったようなゴールだった。

このゴールで5-1になりようやく勝負はついた。よくぞここまで来れたと選手全員に拍手を送りたい。

(レポート=鈴木修平)

仙台サッカーカラーリーグ
仙台地区サッカー協会 第1種社会人選手権

SENDAI FOOTBALL CLUB LEAGUE

HOME 組織概要 大会情報 日程・結果 会場案内 関連リンク 問い合わせ

2013成績

2013.10.21.Mon
1部リーグ戦試合結果を記載

2013.10.15.Tue
1部リーグ戦試合結果を記載

仙台地区
サッカー協会

2013成績

1部ゴール・アシストランキング

部幹事: ロッソル

	富士	オクト	ロッソ	東北	仙台FC	ブレジ	仙台FC	クライ	広瀬	向山	点	得	失	勝	敗	順位	結果	
富士	---	O2-1	O3-0	●0-1	O1-0	△0-0	●0-4	○4-0	O3-1	O3-0	19	6	1	2	19	7	12	3
オクト菱子	●1-2	---	O3-2	●2-4	O2-1	○7-0	O1-0	○5-1	O1-0	O7-0	21	7	0	2	29	10	19	2
ロッソル	●0-3	●2-3	---	●1-2	●0-1	O6-2	O5-1	O5-2	O5-1	O4-1	15	5	0	4	26	16	12	5
東北	○1-0	O4-2	O2-1	---	●0-2	O1-0	△1-1	O6-0	O5-1	O6-1	22	7	1	1	26	8	18	1
ジュパルソ	●0-1	●1-2	●0-1	O2-0	---	●0-1	O2-0	O4-3	●1-2	O4-0	15	5	0	4	15	9	6	6
ブレジ	△0-0	●0-7	●2-6	●0-1	O1-0	---	O2-0	O5-2	O5-1	O4-3	16	5	1	3	19	20	-1	4
仙台FC	O4-3	●0-1	●1-5	●1-1	●0-2	●0-2	---	O1-0	●1-5	●0-3	7	2	1	6	8	21	-13	9
クライマックス	●0-4	●1-5	●2-5	●0-6	●3-4	●2-5	●0-1	---	●0-2	●0-2	0	0	0	9	8	34	-26	10
広瀬	●1-3	●0-1	●1-5	●1-5	O2-1	●1-5	O5-1	O2-0	---	●0-1	9	3	0	6	13	22	-9	7
仙台向山	●0-3	●0-7	●1-4	●1-6	●0-4	●3-4	O3-0	O2-0	O1-0	---	9	3	0	6	11	28	-17	8
◆違反行為)	◇																	

準決勝、決勝を観戦できず、大変気をもんでいましたが、見事に勝ち抜いたメンバーに、心からおめでとうと言いたいと思います。

鈴木監督の、ブレの無い一貫した戦略と、選手たちが一戦ごとに成長してくれたことが勝因だったのではないかでしょうか。いつもならシーズンオフの時期に、コンスタントにメンバーがそろったこと、控えメンバーのローテーションをうまく回せたことも大きいと思います。

チームを支えたスタッフの皆さん、ありがとうございました。

そして、この更新遅滞気味のサイトをご覧いただいている皆様、今シーズンのご声援、ありがとうございました。

(追記=吉田)

